

「求められる図書館サービスとスタッフディベロップメント」をテーマとした 国際シンポジウムを開催

広島大学図書館では、「フレンドリーなキャンパスづくり」を基本コンセプトとして国際シンポジウム「求められる図書館サービスとスタッフディベロップメント」を平成18年11月14日(火)に開催いたしました(主催：国立情報学研究所、共催：大阪大学附属図書館、東北大学附属図書館)。

また、本シンポジウムに先立って、同日午前中(10:30~11:50)に「留学生と外国人研究員のための図書館サービスについての懇談会」と題してプリ・セッションが行われました。海外からの参加パネリスト、Ms. Sue Dodd(ウプサラ大学図書館：スウェーデン)、Ms. Liz Walkley Hall(フリンダース大学図書館：オーストラリア)、Ms. Chie Emslie(オークランド大学図書館：ニュージーランド)から、留学生及び外国人研究員への図書館サービス内容についての事例報告がなされ、その後、パネリストを中心に本学の外国人研究員、留学生や本学関係部署(図書館部、国際部、留学生センター)の職員等と、建設的なディスカッションが行なわれました。

出席者からは、図書館の開館時間の延長や週末も開館してほしいこと、学生の居場所を確保してほしいといった要望や、留学生は図書資料の探し方など十分な説明を受けていないこともあり、留学生のためのオリエンテーションが実施されていても留学生には十分に伝わっていないことがあるなど、留学生や外国人研究員に英語での情報提供をしてほしいといった意見が出されました。各図書館側からは、これら意見や要望を今後のより良い図書館運営の参考にしたいとの意思表示がなされました。



懇談会参加者